

千葉大学病院にて乳がん手術を受けられた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2023年1月31日

臓器制御外科

臓器制御外科では、ホルモン受容体陽性 HER2 陰性乳癌の新たな再発リスク評価法とその対策法の提案に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2010年1月1日～2022年6月1日の間に臓器制御外科で乳がん手術を受けられた方

1. 研究課題名

「ホルモン受容体陽性 HER2 陰性乳癌の新たな再発リスク評価法とその対策法の提案」

2. 研究期間

2023年承認日～2024年1月1日

この研究は、観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

早期 Luminal 乳癌に対して、再発リスクを評価するための予後予測方法が開発されている。本研究は luminal 乳癌再発高リスク群の予後情報を統合し、再発リスク予測ツールを目指すものである。本施設で治療がおこなわれた StageI-III の luminal 乳がんの臨床病理学的因子を抽出し、転移再発、死亡などの重要イベントを Endpoint として解析する。新たな再発リスク評価基準と再発予防治療の妥当性を評価し、有用性を検証し、Luminal type の新たな予後予測方法とその対策法の構築を目指す。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている年齢、術式、リンパ節転移状態、腫瘍大きさ、組織学的グレ

ード、治療方針および治療からの予後情報

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 横手 幸太郎

研究代表者：臓器制御外科 助教 高田 護

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学部附属病院2階臓器外科学研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院臓器制御外科

医師 高田護

043 (222) 7171 内線6731